

平成28年度旭川市病院事業会計決算の概要

平成28年度は、入院患者数の減少及び外来1人当たりの収益単価の減少により、入院収益、外来収益ともに前年度を下回ってしまいました。

資金面では、単年度収支で5億9千403万5千円の大幅な赤字となり、初めて資金不足に陥ることとなりました。

当院としては、経営コンサルティング業務の実施や様々な職種の職員が集まったの経営改善会議の実施などの取り組みを行いました。

さらに、市立旭川病院第3次中期経営計画（新公立病院改革プラン）を策定し、平成29年～平成33年度までの数値目標を設定したところであり、今後は、経営改善に向けて職員一丸となり、一層努力して参ります。

1 平成28年度決算の内容

(1) 患者数

(単位：人)				
区 分		予 算 a	決 算 b	増 減 b-a
入 院	延べ患者数	136,875	121,964	-14,911
	1日平均患者数	375.0	334.1	-40.9
外 来	延べ患者数	246,159	238,671	-7,488
	1日平均患者数	1,013.0	982.2	-30.8

(2) 収益的収入・支出（税込）

(単位：千円)				
項 目	予 算 a	決 算 b	執行率 b/a(%)	備 考
病院事業収益	12,509,367	11,448,818	91.5	
医業収益	10,771,014	9,671,880	89.8	
入院	7,026,816	6,423,664	91.4	
外来	3,533,771	3,030,710	85.8	本院のほか、江丹別診療所を含む
その他	210,427	217,506	103.4	
医業外収益	1,354,819	1,406,437	103.8	一般会計負担金を含む
特別利益	383,534	370,501	96.6	
病院事業費用	12,503,458	11,572,166	92.6	
医業費用	12,117,452	11,190,321	92.3	江丹別診療所費用を含む
医業外費用	382,005	381,845	100.0	
特別損失	1	0	0.0	
予備費	4,000	0	0.0	

(3) 資本的收入・支出（税込）

（単位：千円）				
項目	予 算 a	決 算 b	執行率 b/a(%)	備 考
資本的收入	1,143,094	1,102,542	96.5	
企業債	354,500	316,500	89.3	
補助金等	0	917	0.0	
一般会計負担金	788,594	785,125	99.6	
資本的支出	1,746,567	1,692,767	96.9	
建設改良費	534,926	482,126	90.1	
企業債償還金	1,210,641	1,210,641	100.0	
予備費	1,000	0	0.0	

2 財務諸表

(1) 損益計算書

1年間の企業活動の経営成績を表します

（単位：千円）			
事業年度 項目	平成27年度 a	平成28年度 b	増 減 b-a
医業収益	10,115,247	9,654,124	-461,123
医業外収益	1,430,527	1,401,917	-28,610
特別利益	272,271	370,502	98,231
収益計(7)	11,818,045	11,426,543	-391,502
医業費用	11,711,272	11,061,769	-649,503
医業外費用	527,375	488,879	-38,496
特別損失	453	0	-453
費用計(1)	12,239,100	11,550,648	-688,452
損益(7)-(1)	-421,055	-124,105	296,950

(2) 貸借対照表

年度末における財産の状態を表します。

(単位：千円)			
事業年度 項目	平成27年度 a	平成28年度 b	増 減 b-a
資 産	11,571,055	10,814,047	-757,008
固定資産	9,505,652	8,922,332	-583,320
流動資産	2,065,403	1,891,715	-173,688
うち現金預金	172,406	47,814	-124,592
負 債	18,113,138	17,480,235	-632,903
固定負債	14,557,326	13,527,349	-1,029,977
流動負債	2,735,643	3,201,376	465,733
繰延収益	820,169	751,510	-68,659
資 本	-6,542,083	-6,666,188	-124,105
資本金	9,925,406	9,925,406	0
剰余金	-16,467,489	-16,591,594	-124,105
うち利益剰余金	-16,467,489	-16,591,594	-124,105

3 経営状況（主な財務指標）

(1) 損 益

損益計算 平成28年度純損益 -1億2千410万5千円

平成27年度の純損失4億2千105万5千円から平成28年度は1億2千410万5千円の純損失と収支は改善しましたが、黒字への転換には至りませんでした。

(2) 資金収支・資金残高

資金収支計算 平成28年度収支 5億9千403万5千円収支不足

資金残高（マイナスは不足）平成28年度末残高 -5千363万5千円

資金残高は、流動資産と流動負債（企業債を除く）の差で表され、マイナスになると資金不足の発生につながります。資金収支は、前年度と今年度の資金残高の増減で実質的な収支状況を表します。

(3) 資金不足比率

資金不足比率は、資金不足の状況を表し、次の式で算出されますが、当院においては、地方公営企業会計制度改正に伴う経過措置が適用となるため資金不足額は0としています

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模 (医業収益額)}} = \frac{0}{9,671,880 \text{千円}} = 0 \quad (\text{報告額})$$